

エコアクション21

2024(令和6)年度  
環境経営レポート

(運用期間 2024(R6)年6月～2025(R7)年5月)



®環境省  
エコアクション21  
認証番号0005463

藤田商事株式会社

2026(R8)年 1月30日 発行

# 環境経営方針

## (環境理念)

藤田商事株式会社は、弊社取扱商品の販売を通じて、顧客満足を提供すると共にあらゆる事業活動を通じて、環境への負荷軽減をはかり、次世代に豊かで快適な環境を実現し、地域社会への貢献を視野に入れた事業を継続的に展開していきます。

## (行動指針)

環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の軽減をはかり、環境関連法規を遵守します。具体的には以下の行動指針に取り組み、遵守状況の確認及び見直しを行います。

- 1 二酸化炭素の排出削減を重点目標とします。  
使用エネルギーの削減に努めます。  
営業車の燃費向上に努めます。
- 2 資源のリサイクルに取り組みます。
- 3 水の使用量の削減に取り組みます。
- 4 弊社で使用する商品に関してはグリーン購入法適合マーク、エコマーク、GPNマークの付いた品物を最優先に使用します。
- 5 環境に優しい商品の販売に努めます。
- 6 社員に業務上必要な資格の取得をサポートします。
- 7 コロナウイルス感染症・インフルエンザ、熱中症にならないような対策をします。
- 8 環境関連の法令・規則を遵守すると共に地域や関係団体と共にボランティア活動を通じて地域社会に貢献します。
- 9 本方針を全ての社員に周知徹底すると共に広く一般に公開します。

藤 田 商 事 株 式 会 社

代表取締役会長 藤田 雄二  
平成21年11月15日制定  
令和2年 6月 1日改訂  
令和3年 6月 1日改訂

# 地域活動の実績

献血運動に協力



# 1.事業概要

1) 事業者名及び  
代表者

藤田商事株式会社  
代表取締役会長 藤田 雄二

2) 事業所設立年月

1955年11月15日

3) 所在地

本社 〒805-0002 北九州市八幡東区枝光1-2-14  
木更津営業所 〒292-0803 千葉県木更津市幸町1-1-22  
大阪営業所 〒591-8024 堺市北区黒土町14-9-101  
光営業所 〒743-0063 山口県光市島田1-3-2

4) 環境管理責任者  
及び事務局

環境管理責任者 藤田 雄二  
e a21事務局 本田 康雄

5) 連絡先

連絡担当者 本田 康雄  
TEL : 093-671-3200  
FAX : 093-661-7789  
E-mail [honda.y@fujita-fs.co.jp](mailto:honda.y@fujita-fs.co.jp)

6) 事業規模

従業員 52名  
売上高 4,314百万円  
床面積 964.95㎡

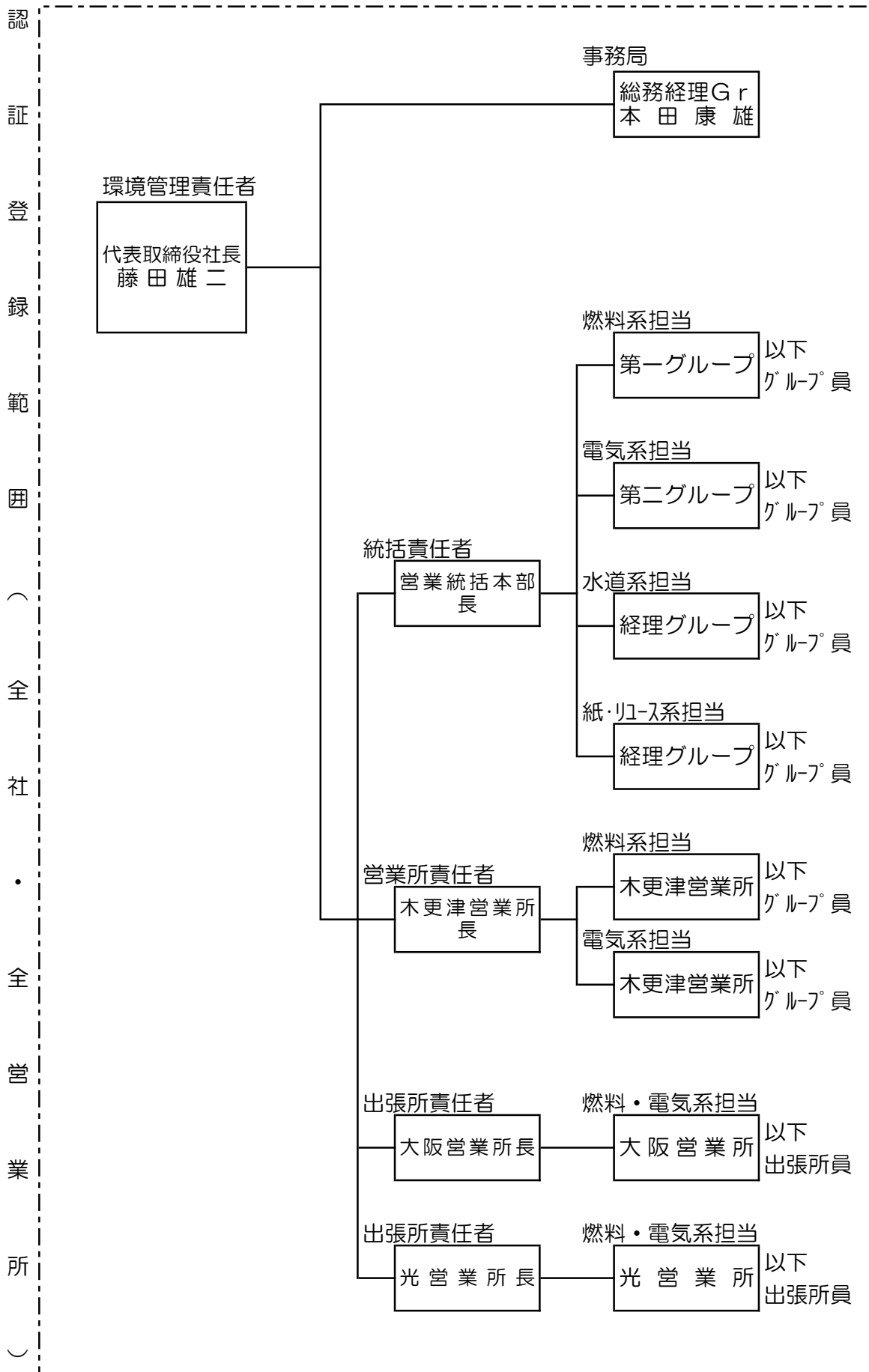
7) 事業活動の内容

工業用ゴム製品・油空圧真空機器の販売

8) 認証・登録範囲

全組織・全活動

## 2. 会社組織図および認証登録範囲



### 3. 実施体制

氏名	所属	役割・責任・権限
藤田雄二	代表取締役社長	環境管理責任者の任命、環境方針の作成、および全体の評価と見直し
藤田雄二	環境管理責任者 e a21責任者	環境経営システムを確立・実施する、代表者に対してシステムの実施報告、e a21事務局の責任者として事務局の運営、そのシステムの実施責任者
本田康雄	e a21事務局	環境管理責任者を補佐し全社員参加によるe a21の運営、および地域社会への貢献活動
	統括責任者	担当リーダーの統括責任者として各リーダーから報告を受け省資源化を推進する
	営業所責任者	営業所の統括責任者としてそれぞれのリーダーから報告を受け省資源化を推進する
	燃料系担当 リーダー	アイドリングストップ・エコドライブを推進し全営業車の燃費管理、グループ員を統括する
	電気系 リーダー	省資源・省エネルギーの推進をし室温管理、電灯の消し忘れ等を管理、グループ員を統括する
	水道系 リーダー	省資源・省エネルギー・節水を推進をし、グループ員を統括する
	紙・リサイクル系 リーダー	紙消費量の削減を推進、また紙のリサイクルを積極的に推進し、グループ員を統括する
	燃料系担当 リーダー	アイドリングストップ・エコドライブを推進し全営業車の燃費管理、グループ員を統括する(木更津)
	電気系 リーダー	省資源・省エネルギーの推進をし室温管理、電灯の消し忘れ等を管理、グループ員を統括する(木更津)
	大阪営業所 リーダー	大阪営業所のエコドライブ、省資源、省エネを推進し、出張所員を統括する
	光営業所 リーダー	光営業所のエコドライブ、省資源、省エネを推進し、出張所員を統括する
e a 2 1 推進会議		月に1度のメールでの実績報告を受け、3ヶ月に1度各所で会議を実施、その内容を取りまとめ、環境管理責任者に報告翌週の朝礼で全社員に報告する

#### 4. 当年度及び中期の環境経営目標

	単位	2022年度 (2022.6~23.5)	2023年度 (2023.6~24.5)	2024年度 (2024.6~25.5)	2025年度 (2025.6~26.5)	
		(基準年度)	(目標)	(目標)	(目標)	
本社	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	4,790.3	4,766.4	4,742.4	4,718.5
	電気の使用量削減	kWh	4,193.1	4,172.1	4,151.2	4,130.2
		0.513 kg-CO2	2,151.1	2,140.3	2,129.5	2,118.8
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	1,115.7	1,110.1	1,104.5	1,099.0
		2.322 kg-CO2	2,590.7	2,577.7	2,564.7	2,551.8
	燃料使用量の削減 (軽油)	L	11.9	11.8	11.8	11.7
		2.624 kg-CO2	31.2	31.1	30.9	30.8
	ガソリン+軽油	kg-CO2	2,621.9	2,608.8	2,595.7	2,582.6
	営業車の燃費	km/L	10.00	10.05	10.10	10.15
	燃料使用量の削減 (灯油)	L	0.0	0.0	0.0	0.0
		2.492 kg-CO2	0.0	0.0	0.0	0.0
	燃料使用量の削減 (LPG)	m <sup>3</sup>	2.8	2.8	2.8	2.8
6.214 kg-CO2		17.4	17.3	17.2	17.1	
廃棄物総排出量の削減	kg	868.0	863.7	859.3	855.0	
節水活動	m <sup>3</sup>	22.3	22.2	22.1	22.0	
環境に優しい商品の販売	品目	5	5	5	5	
木更津	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	2,015.2	2,005.1	1,995.0	1,984.9
	電気の使用量削減	kWh	1,270.1	1,263.7	1,257.4	1,251.0
		0.451 kg-CO2	572.8	570.0	567.1	564.2
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	559.8	557.0	554.2	551.4
		2.322 kg-CO2	1,299.9	1,293.4	1,286.9	1,280.4
	燃料使用量の削減 (軽油)	L	54.3	54.0	53.8	53.5
		2.624 kg-CO2	142.5	141.8	141.1	140.3
	ガソリン+軽油	kg-CO2	1,442.3	1,435.1	1,427.9	1,420.7
営業車の燃費	km/L	8.96	9.01	9.05	9.10	
廃棄物総排出量の削減	kg	480.0	477.6	475.2	472.8	
節水活動	m <sup>3</sup>	15.3	15.2	15.1	15.1	
大阪	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	522.2	519.6	517.0	514.4
	電気の使用量削減	kWh	340.4	338.7	337.0	335.3
		0.309 kg-CO2	105.2	104.7	104.1	103.6
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	179.6	178.7	177.8	176.9
		2.322 kg-CO2	417.0	414.9	412.9	410.8
営業車の燃費	km/L	9.13	9.18	9.22	9.27	
光	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	795.9	792.0	788.0	784.0
	電気の使用量削減	kWh	443.4	441.2	439.0	436.7
		0.536 kg-CO2	237.7	236.5	235.3	234.1
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	154.9	154.1	153.4	152.6
		2.322 kg-CO2	359.7	357.9	356.1	354.3
	燃料使用量の削減 (軽油)	L	33.9	33.7	33.6	33.4
		2.624 kg-CO2	89.0	88.5	88.1	87.6
	ガソリン+軽油	kg-CO2	448.6	446.4	444.1	441.9
営業車の燃費	km/L	9.60	9.65	9.70	9.75	
燃料使用量の削減 (灯油)	L	44.0	43.8	43.6	43.3	
	2.492 kg-CO2	109.6	109.1	108.6	108.0	
全	業務用資格の取得	科目	1	1	1	1

※ 二酸化炭素排出係数は2022年版調整後の排出係数、サステナブルエネルギー(0.536kg-CO2/kWh)、東京電力(0.451kg-CO2/kWh)、関西電力(0.309kg-CO2/kWh)、中国電力(0.536kg-CO2/kWh)より算出した。(数値は全て月平均)

## 5. 主要な環境経営計画の内容

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

#### ①電気使用量の削減

- ・エアコンの設定温度を決め、実行する。
- ・使用していない部屋のエアコンOFF。
- ・クールビズの早期の開始。
- ・昼休みの執務室内の電灯の消灯。
- ・残業時の不要な照明の消灯。
- ・石油ファンヒーターとの併用による電気の削減。(本社・大阪・光)
- ・節電シール貼付による節電意識の徹底。

#### ②燃費の向上

- ・タイヤ空気圧のチェック。
- ・アイドリングストップの徹底。
- ・急発進の禁止。
- ・営業車の軽量化(不要な荷物を降ろす)
- ・効率の良い走行計画の実施(本社・木更津・大阪)

### 2. 廃棄物の総量削減(本社)

- ・紙ゴミ分別化による古紙へのリサイクル。
- ・段ボール、裏紙のリユース。
- ・両面印刷の推進
- ・不必要な試し印刷の削減。
- ・在庫の徹底管理による不良品の削減。
- ・廃棄物排出原因の徹底調査。

### 3. 水資源使用量の削減(本社・木更津)

- ・水を流しっぱなしにしない
- ・節水対策の検討  
高圧洗浄機の購入の検討  
節水コマ導入の検討

### 4. グリーン購入

- ・グリーン購入法適合マーク、エコマーク、GNPマークのついた品物を最優先に購入する。

### 5. 環境に優しい商品の販売

- ・省エネ等を謳った環境に優しい商品を最優先で紹介、販売していく。

### 6. 業務用資格の取得

- ・受験資格の選定
- ・受講希望者の募集

### 7. コロナウイルス感染症、インフルエンザ、熱中症にならないような対策の実施

### 8. 献血や清掃ボランティアなどの積極的な参加 SDGsの取組み

## 6-1. 環境経営活動の取組結果

	単位	2022年度	2024年度		目標達成率	
		(基準年度)	(目標▲1.0%)	(実績/月)		
<b>全社二酸化炭素総排出量(年)</b>	kg-CO2	97,483.8	96,509.0	93,531.6		
<b>(月)</b>	kg-CO2	8,123.7	8,042.4	7,794.3	<b>103.2%</b>	
<b>二酸化炭素排出量</b>	kg-CO2	4,790.3	4,742.4	5,038.3	<b>94.1%</b>	
本社	電気の使用量削減	kWh	4,193.1	4,151.2	4,237.3	
	0.513	kg-CO2	2,151.1	2,129.5	2,173.7	98.0%
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	1,115.7	1,104.5	1,208.0	
	2,322	kg-CO2	2,590.7	2,564.7	2,805.0	91.4%
	燃料使用量の削減 (軽油)	L	11.9	11.8	15.6	
	2,624	kg-CO2	31.2	30.9	40.9	75.5%
	ガソリン+軽油	kg-CO2	2,621.9	2,595.7	2,845.9	91.2%
	営業車の燃費	km/L	10.00	10.10	10.33	102.3%
	燃料使用量の削減 (灯油)	L	0.0	0.0	1.5	
	2,492	kg-CO2	0.0	0.0	3.7	-
燃料使用量の削減 (LPG)	m <sup>3</sup>	2.8	2.8	2.4		
6,214	kg-CO2	17.4	17.2	14.9	115.5%	
廃棄物総排出量の削減	kg	868.0	859.3	802.0	107.1%	
節水活動	m <sup>3</sup>	22.3	22.1	23.0	96.0%	
環境に優しい商品の販売	品目	5	5	7	140.0%	
<b>二酸化炭素排出量</b>	kg-CO2	2,015.2	1,995.0	1,704.3	<b>117.1%</b>	
木更津	電気の使用量削減	kWh	1,270.1	1,257.4	1,254.0	
	0.451	kg-CO2	572.8	567.1	565.6	100.3%
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	559.8	554.2	425.0	
	2,322	kg-CO2	1,299.9	1,286.9	986.9	130.4%
	燃料使用量の削減 (軽油)	L	54.3	53.8	57.9	
	2,624	kg-CO2	142.5	141.1	151.9	92.8%
	ガソリン+軽油	kg-CO2	1,442.3	1,427.9	1,138.8	125.4%
	営業車の燃費	km/L	8.96	9.05	11.06	122.2%
	廃棄物総排出量の削減	kg	480.0	475.2	485.0	98.0%
	節水活動	m <sup>3</sup>	15.3	15.1	12.8	118.3%
<b>二酸化炭素排出量</b>	kg-CO2	522.2	517.0	467.2	<b>110.7%</b>	
大阪	電気の使用量削減	kWh	340.4	337.0	250.9	
	0.309	kg-CO2	105.2	104.1	77.5	134.3%
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	179.6	177.8	167.8	
	2,322	kg-CO2	417.0	412.9	389.6	106.0%
	営業車の燃費	km/L	9.13	9.22	8.72	94.6%
<b>二酸化炭素排出量</b>	kg-CO2	795.9	788.0	584.5	<b>134.8%</b>	
光	電気の使用量削減	kWh	443.4	439.0	481.8	
	0.536	kg-CO2	237.7	235.3	258.2	91.1%
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	L	154.9	153.4	85.9	
	2,322	kg-CO2	359.7	356.1	199.5	178.5%
	燃料使用量の削減 (軽油)	L	33.9	33.6	35.6	
	2,624	kg-CO2	89.0	88.1	93.4	94.3%
	ガソリン+軽油	kg-CO2	448.6	444.1	292.9	151.7%
	営業車の燃費	km/L	9.60	9.70	8.79	110.3%
燃料使用量の削減 (灯油)	L	44.0	43.6	13.4		
2,492	kg-CO2	109.6	108.6	33.4	325.1%	
全	業務用資格の取得	科目	1	1	1	100.0%

※ 二酸化炭素排出量、節水活動は月平均、廃棄物排出量は通年合算

二酸化炭素排出係数は2022年版調整後の排出係数、サステナブルエナジー(0.536kg-CO2/kWh)、東京電力(0.451kg-CO2/kWh)、関西電力(0.309kg-CO2/kWh)、中国電力(0.536kg-CO2/kWh)より算出した。(数値は全て月平均)

## 6-2. 環境経営活動の取組結果（費用対効果）

	単位	2022年度	2024年度	削減額	削減率
		(基準年度)	(実績/年)		
本社	電気代	円 1,904,799	1,680,139	224,660	11.8%
	燃料代（ガソリン+軽油）	円 2,383,297	2,797,005	-413,708	-17.4%
	灯油代	円 0	2,178	-2,178	#DIV/0!
	ガス代（LPG）	円 50,847	49,325	1,522	3.0%
	水道代	円 99,371	100,283	-912	-0.9%
	本社合計	円 4,438,314	4,628,930	-190,616	-4.3%
	木更津	電気代	円 670,189	604,949	65,240
燃料代（ガソリン+軽油）		円 1,249,354	1,040,464	208,890	16.7%
水道代		円 61,586	48,035	13,551	22.0%
木更津合計		円 1,981,129	1,693,448	287,681	14.5%
大阪	電気代	円 110,146	89,893	20,253	18.4%
	燃料代（ガソリン）	円 353,816	361,709	-7,893	-2.2%
	大阪合計	円 463,962	451,602	12,360	2.7%
光	電気代	円 167,427	189,387	-21,960	-13.1%
	燃料代（ガソリン+軽油）	円 364,546	242,315	122,231	33.5%
	灯油代	円 11,327	21,459	-10,132	-89.4%
	光合計	円 543,300	453,161	90,139	16.6%
全社合計		7,426,705	7,227,141	199,564	2.7%

## 7. 環境経営活動の評価および 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

- ・昨年と全く同じ状況で、二酸化炭素の排出量削減については、木更津、大阪、光では目標値を上回り、残念ながら本社で下回った。しかも、本社では昨年の実績値を更に下回った結果に終わった。全体では昨年以上の3.2%目標値を上回っているが、やはり全部門で達成できるよう頑張っていきたい。

### 2. 廃棄物の総量削減

- ・本社の廃棄物については大幅に目標値をクリアしたものの、今回は木更津が目標値をクリアできていない。  
やはり限界値に近づいているので現状を維持する。

### 3. 水資源使用量の削減

- ・本社が微増でクリアできなかったものの、木更津では目標を達成できた。  
しかも木更津においては全ての月で目標を達成した。  
このまま現状を維持・管理していく。

### 4. グリーン購入

- ・グリーン購入を優先的に使用した。引き続きこのまま現状を維持して行く。

### 5. 環境に優しい商品の販売

- ・本社においては目標値を設定し、達成している。  
新たに代理店となった環境に優しい商品においては種まきが功を奏して着実に実績をあげている。

### 6. 業務用資格の取得

- ・建設業許可に必要な資格においては試験制度の変更により取得できなくなった。  
そのため今年からは別の試験に挑戦し、見事1名の合格者を出した。

### 7. 熱中症、インフルエンザ、コロナウイルス感染症の対策

- ・熱中症予防に関しては従来工事現場だけの対策に留めていた。しかし、法律が変わったため、今年からは全社員に対して書面で説明を行い、注意勧告するようにした。また、社内の目立つ箇所に熱中症に罹患した場合の対応策、を貼っている。各所単位で罹患した場合の連絡者を決め、その対応策のチラシにも記載した。  
インフルエンザにおいては例年通り、接種代の全額補助を継続している。

### 8. その他

- ・献血活動においては参加したが、河川の清掃ボランティアはまだ復活の兆しを見せてない。代わりに草刈りなどのボランティア活動に参加している。

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無については、当社に適用される主な環境関連法規等（廃棄物の処理及び清掃に関する法律、フロン排出抑制法）及びそれらの遵守状況を確認した結果として、「環境関連法規への違反はなかった。なお、関係当局より違反等の指摘もない。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・今年度は昨年より目標値が上がっているにもかかわらず、全営業所での二酸化炭素排出量が昨年より達成率が上がっていると報告を受けた。  
非常に喜ばしいことではあるが、昨年指示した「本社は目標を達成すること」においてクリアできなかったことは非常に残念である。引き続き今年度も来年目標として「本日も目標値を達成させること」を指示として与える。  
廃棄物の総廃出量においても全社トータルでは達成しているが、木更津においてはあと10kg足りなかつただけなので、もう少しだけ頑張るように期待する。  
環境に優しい商品の販売においては蒔いていた種がようやく実を結び始めたようである。これを継続して行って欲しい。  
業務用資格の取得は受験資格の変更により、従来の資格試験は受験できなくなったと報告を受けている。新たな試験を受験することにより1名の合格者を出しているため、こちらも継続していくように。